

印刷物積算書（商業印刷物用）

日付: X年 X月 X日 (O)

担当部署	〇〇社 〇〇部	担当者	〇〇 〇〇	TEL	XX-XXXX-XXXX
件名	入会案内チラシ(両面)	規格・頁数	B4判		数量 10,000 枚

項目	構成	種類	規格等	単価	数量	数量	数量	金額	参照頁		
A.編集デザイン											
1	デザイン	両面	チラシ	B4	30,000 円 ×	2 面 ×	=	60,000 円	P104		
編集デザイン 計								60,000 円			
B.DTPパーツ作成											
1	文字	両面	データ処理	ペラ物	200 円		=	200 円	P108		
2	罫表	裏面	データ処理		350 円 ×	2 点	=	700 円	P109		
3	図版	表面	データ処理	ロゴ	200 円 ×	1 点	=	200 円	P110		
4	写真	表面	データ処理	カラー	350 円 ×	4 点	=	1,400 円	P111		
DTPパーツ作成 計								2,500 円			
C.DTPメイクアップ											
1	メイクアップ	表面	画像主体	B4 難易度A カラー	1,150 円 ×	1 頁	=	1,150 円	P116		
		裏面	画像主体	B4 難易度D カラー	4,250 円 ×	1 頁	=	4,250 円	P116		
DTPメイクアップ 計								5,400 円			
D.文字デザイン校正紙											
1	校正紙	両面	カラー	B4	150 円 ×	2 頁 ×	1 部 ×	2 回 =	600 円		
文字デザイン校正紙 計								600 円			
op2.色校正											
1	DDCP	両面		B4	2,250 円 ×	2 枚 ×	1 部 ×	1 回 =	4,500 円		
色校正 計								4,500 円			
E.刷版											
1	CTP版	両面	面付	B4×4面付	50 円 ×	4 面 ×	2 版	=	400 円		
		両面	出力	B2	2,800 円 ×	2 版 ×	4 色	=	22,400 円		
刷版 計								22,800 円			
F.印刷											
1	枚葉	両面	(通し単価の場合)	B2 2,500 通し	1.89 円 ×	2 版 ×	4 色 ×	2,500 通 =	37,800 円		
印刷 計								37,800 円			
G.製本加工											
1	化粧裁ち			B4	0.40 円 ×	10,000 枚	=	4,000 円	P171		
製本・加工 計								4,000 円			
H.用紙価格											
1	上質 コート紙	(数量)	正味数量	B4	1部あたりの枚数	製作数量	全判から取れる枚数	正味数量	/	P196	
			印刷予備紙	枚葉 2,500 通し	印刷予備紙率		正味数量	印刷予備紙			P198
			(予備紙率の場合) 計 8 色 (4/4)		21.31 % ×		1,250 枚 =	267 枚			
			製本予備紙	化粧裁ち	製本予備紙率		正味数量	製本予備紙			
					0.80 % ×		1,250 枚 =	10 枚			
用紙数量 計								1,527 枚			
(金額)	kg単価	四六判 68.0 kg ※1	211 円 ×	68.0 kg ÷	1,000 枚 ×	1,527 枚 =	21,909 円	P203			
	白紙裁ち	2 切 250 枚/包	350 円 ×	7 包		=	2,450 円	P197			
用紙金額 計								24,359 円			
用紙価格 計								24,359 円			
<合計金額>											
1	加工高(各工程の合計)							161,959 円	P208		
2	I.諸経費 (諸経費率×加工高) 加工高 30万円まで			諸経費率	加工高			21,055 円	P208		
				13 % ×	161,959 円		=				
合計(加工高+諸経費 ※消費税別)								183,014 円			

・参照頁は「積算資料 印刷料金 2026年版」の掲載ページ。単価は東京を採用。

・※は割増等、「積算資料 印刷料金 2026年版」の掲載値に何らかの処理をしたことを示す。処理内容は「解説」を参照。

解 説

【面付と印刷規格(刷版規格)の選択手順の目安】

- ・ 本事例について、面付と印刷規格(刷版規格)の選択手順の目安は以下のとおり。
 - ・ 印刷規格は、基本的に、選択肢となる印刷規格ごとの印刷通し数と最低基準通し数を比較して選択する。
- なお、ペラ物は、基本的に多面付を行い、印刷通し数を減らすことで効率を得る。

仕上り規格	印刷規格の選択肢	多面付数	印刷通し数 (製作数量÷多面付数)	最低基準通し数
B4	B1(四六・B全判)	B4×8面付	10,000枚÷8面付=1,250通し	B1 3,000通し
	B2(四六・B半裁)	B4×4面付	10,000枚÷4面付=2,500通し	B2 1,500通し
	B3(四六・B四裁)	B4×2面付	10,000枚÷2面付=5,000通し	B3 500通し

上記より、本事例では、印刷通し数が最低基準通し数よりも大きいA2を選択している。

【B.DTPパーツ作成】

- ・ 文字、罫表、図版、表面の写真について、デジタル入稿のためデータ処理を適用。
- 罫表の文字は一般的にデータより流し込みを行うため、入力は不要。

【D.文字デザイン校正紙】

- ・ 1回あたりの出力枚数は2枚(表・裏)のため「1～10枚」の単価を適用。

【op2.色校正】

- ・ 両面について、DDCPを適用。
- ペラ物のため、規格は展開(仕上り)規格B4。

【E.刷版】

- ・ CTP版の面付について、前述のとおり、B4×4面付(多面付)。版数は、表面1版・裏面1版で計2版。
- ・ CTP版出力について、規格は面付後規格B2(半裁)。版数は2版。色数は4色。

【F.印刷】

- ・ 印刷通し数の算出は、「製作数量÷刷版での多面付数」。
- 印刷通し数について、10,000枚÷4面付=2,500通し。
- 規格、版数、色数は刷版と同じ。

【H.用紙】

- ・ 用紙総量が1連(1,000枚)以上10連(10,000枚)未満のため、掲載価格イを適用。
- 四六判68kgのため、規格連量外として5円加算(※1)。
- ・ 白紙裁ちは、印刷規格B2(半裁)のため2切を適用。
- 包み数の算出は、「用紙数量÷1包の入数」。